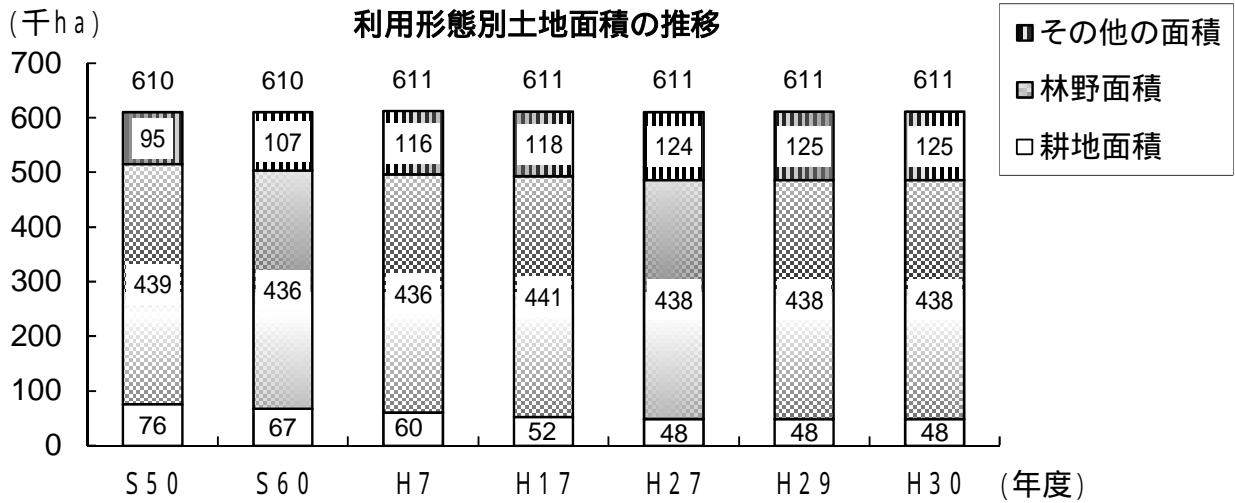


1. 森林資源の現況

(1) 土地利用 (関連資料P21)

本県の林野面積は、438千haで、総土地面積611千haの72%を占め、林野率は全国平均を上回っている。



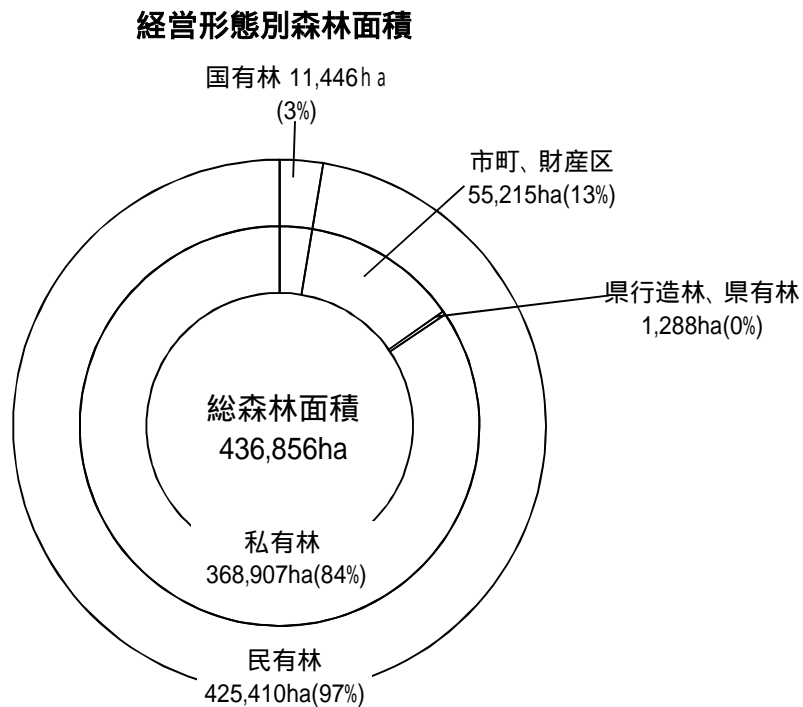
林野面積と林野率

区分	山口県	全国
林野面積	438千ha	24,802千ha
林野率	72%	67%

(資料) 全国は2015年農林業センサス

(2) 経営形態別森林面積 (関連資料P22)

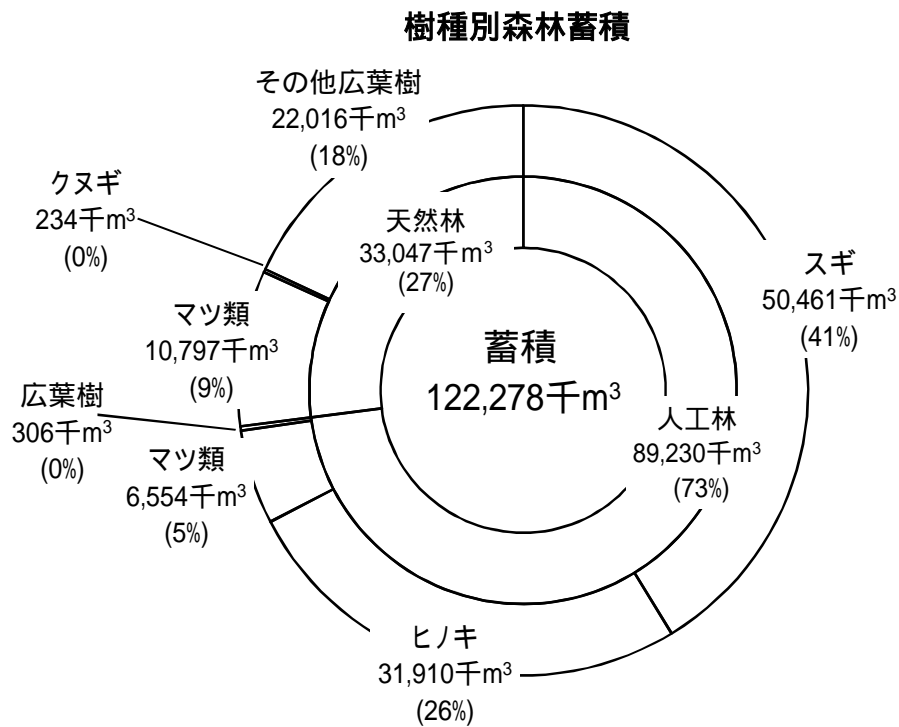
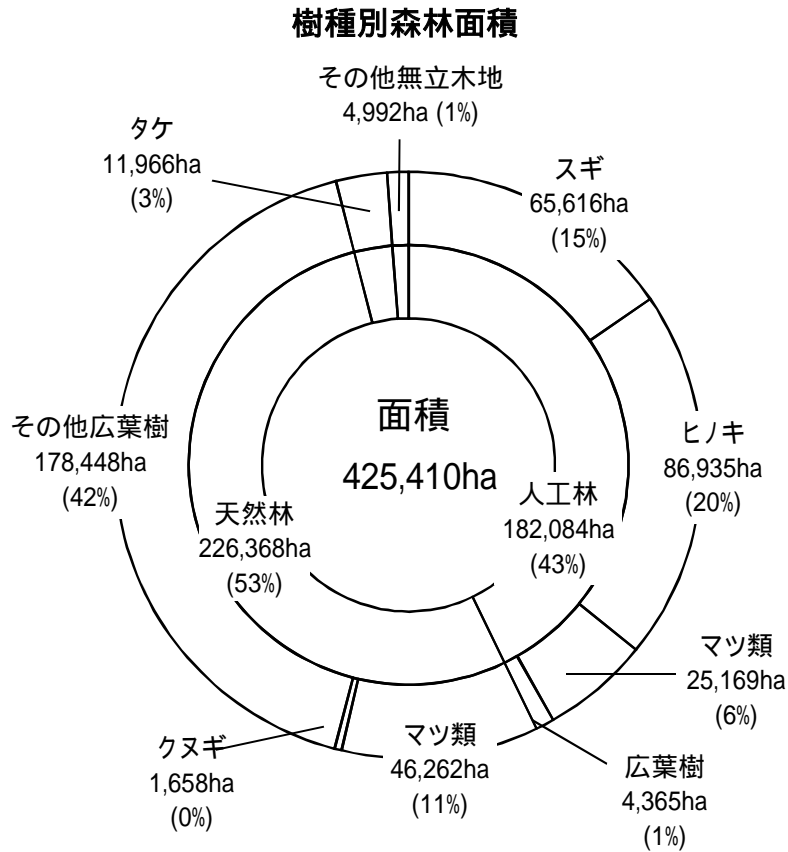
経営形態別は民有林が97%を占め、国有林は3%である。また、私有林は84%を占める。



(3) 民有林の樹種別面積と蓄積 (関連資料P24)

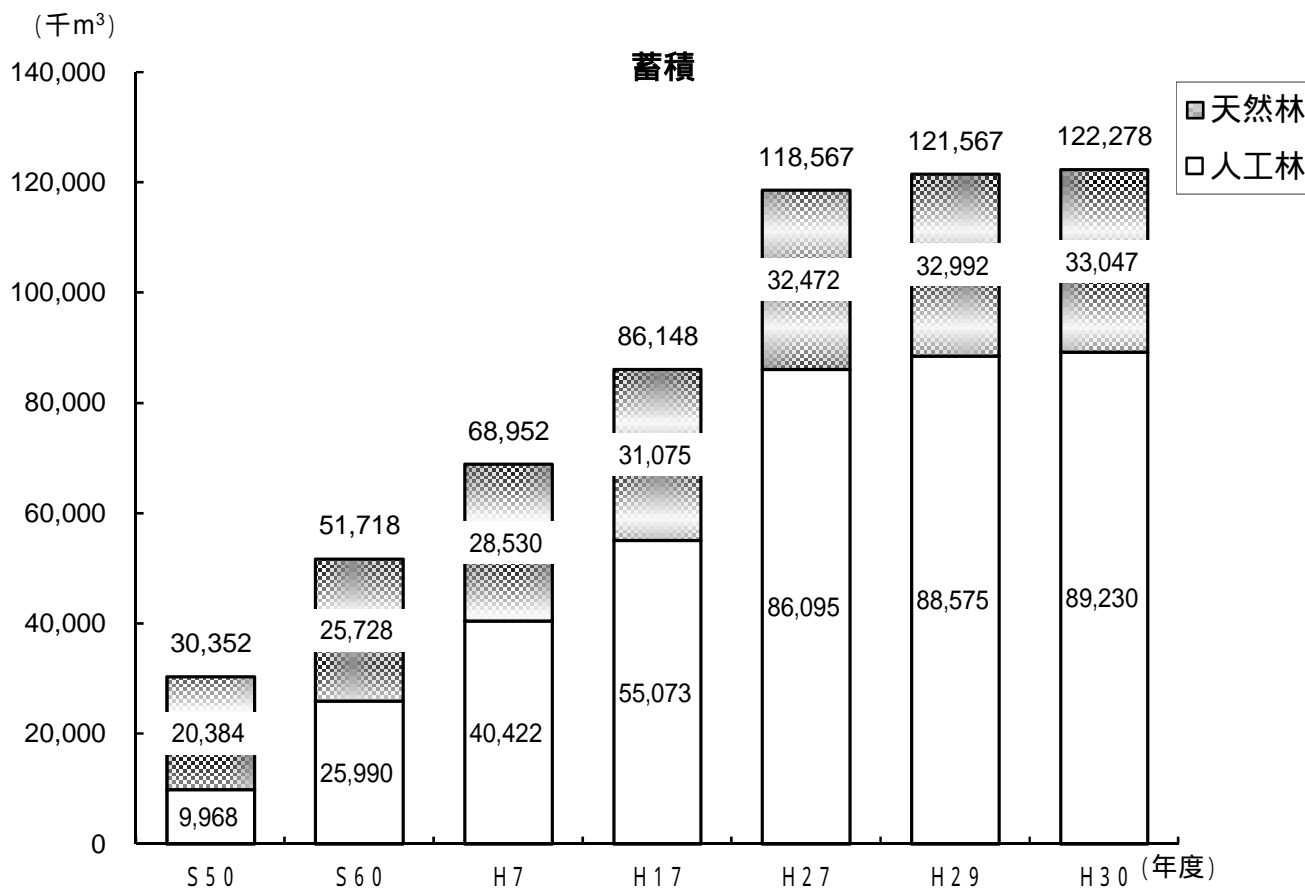
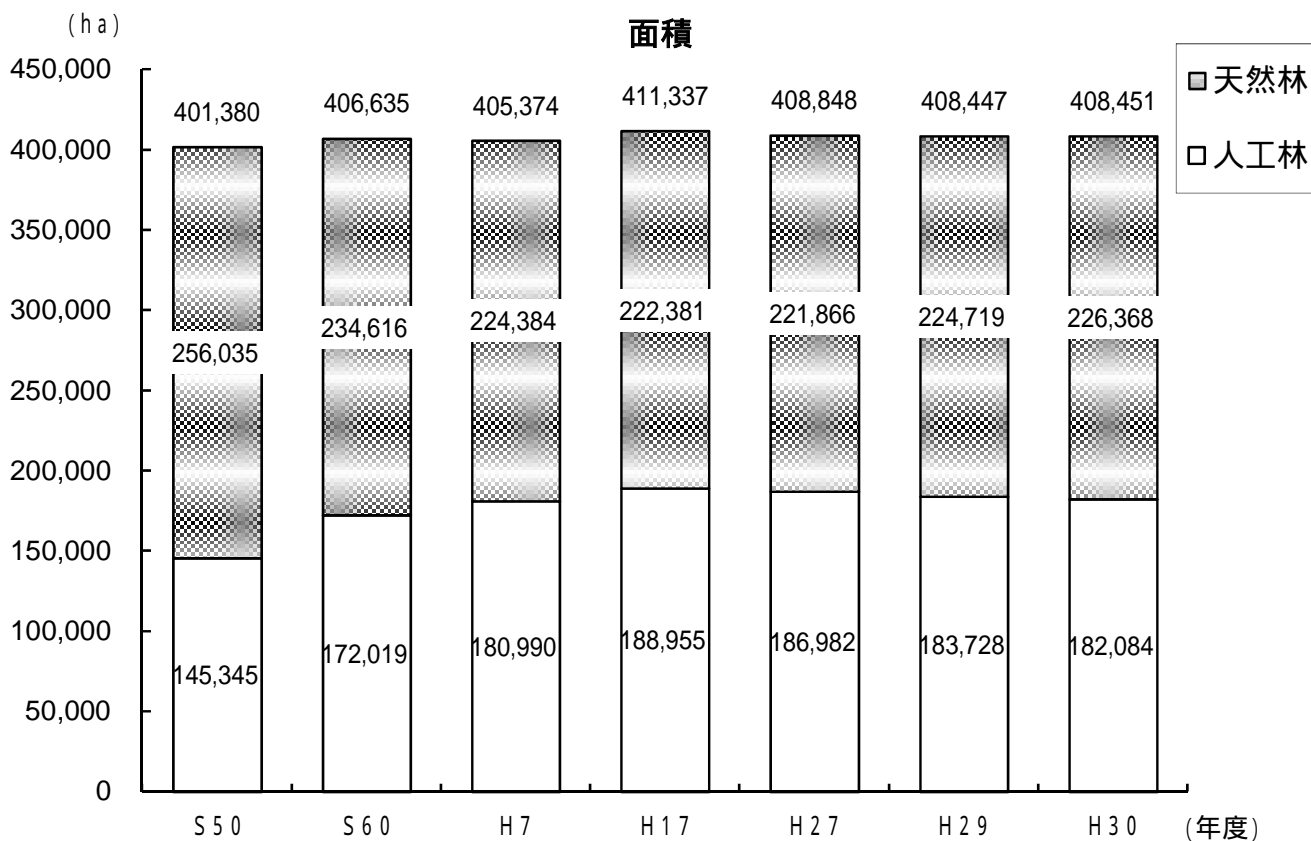
樹種別面積構成は、針葉樹が54%(スギ15%、ヒノキ20%、マツ類18%)、広葉樹42%、竹林等が4%であり、また天然林、人工林比較では、人工林が43%である。

樹種別蓄積構成は針葉樹82%(スギ41%、ヒノキ26%、マツ類15%)、広葉樹18%の割合である。

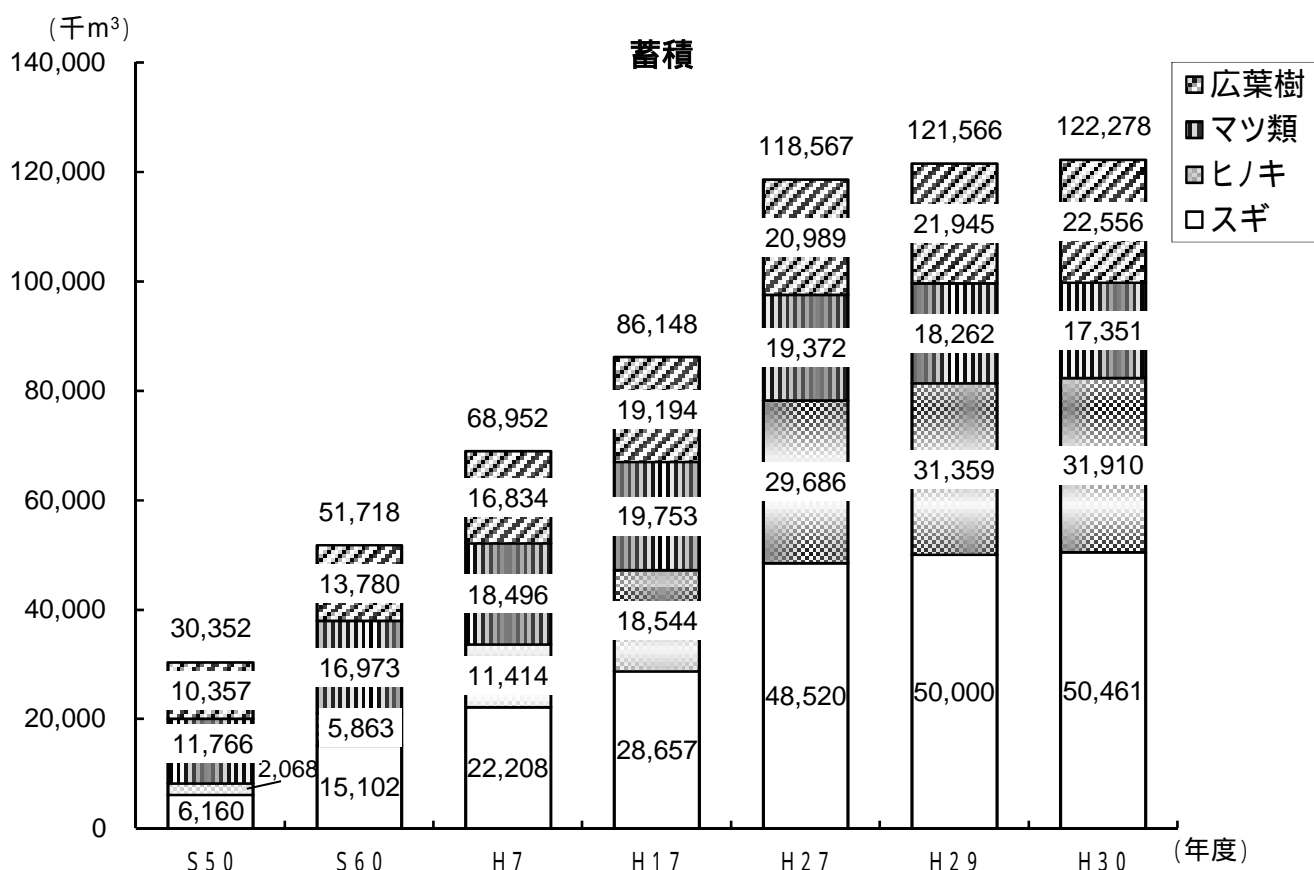
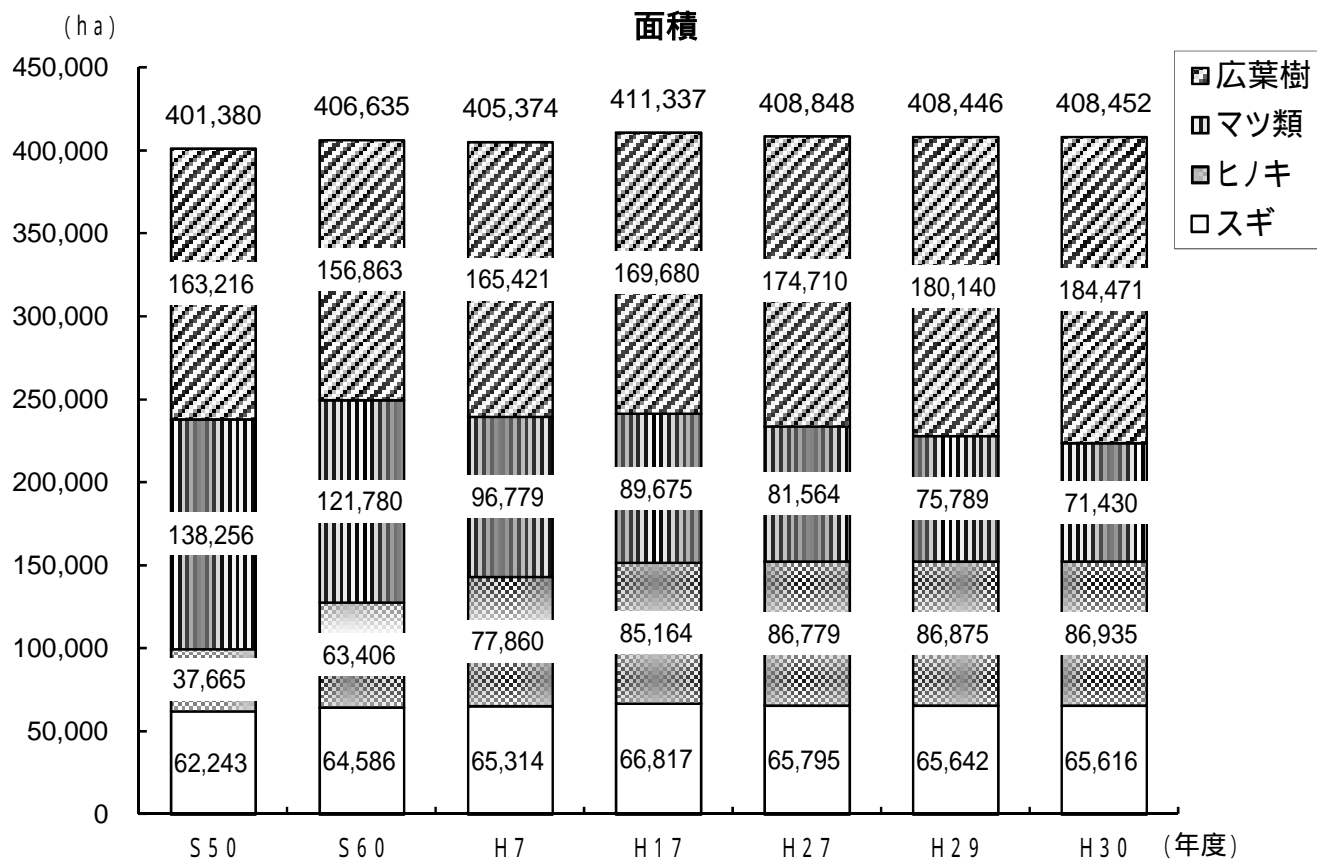


(4) 森林面積と蓄積の推移 (関連資料P24)

ア 人天別森林面積及び蓄積

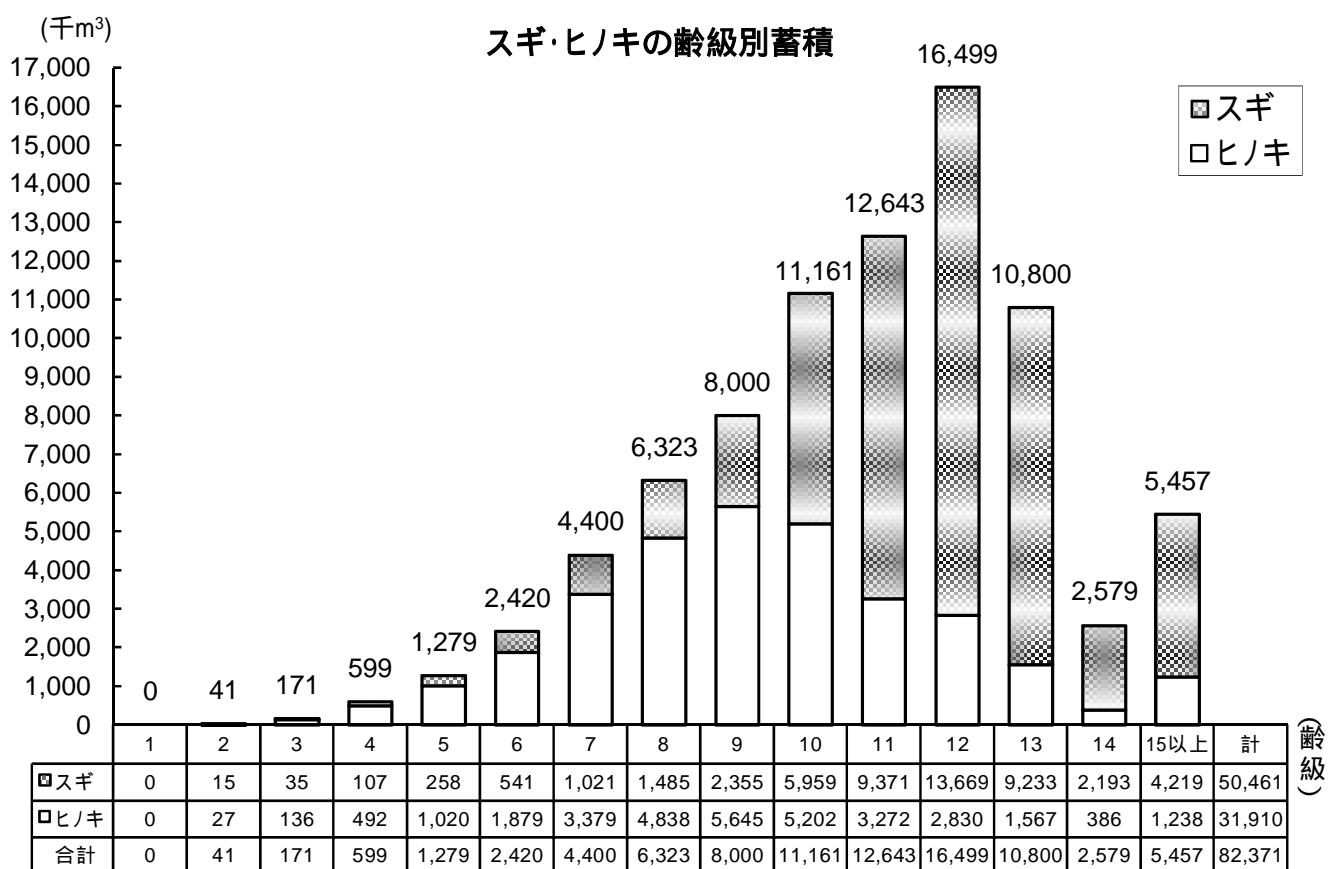
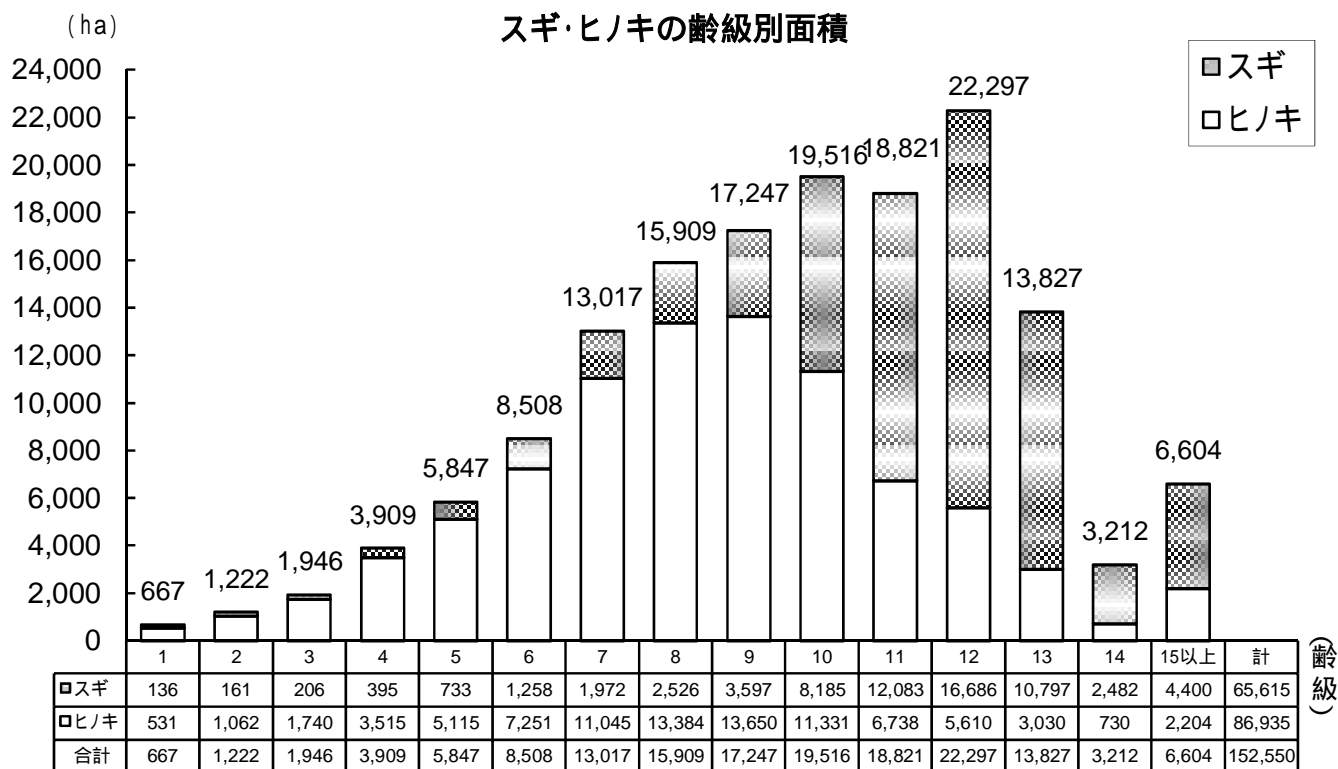


イ 樹種別森林面積及び蓄積



(5) 人工林(スギ・ヒノキ)の齡級構成 (関連資料P28)

人工林(スギ・ヒノキ)の齡級構成は、主伐期を迎えた10齡級(46年生)以上の森林が全体の55%を占めている



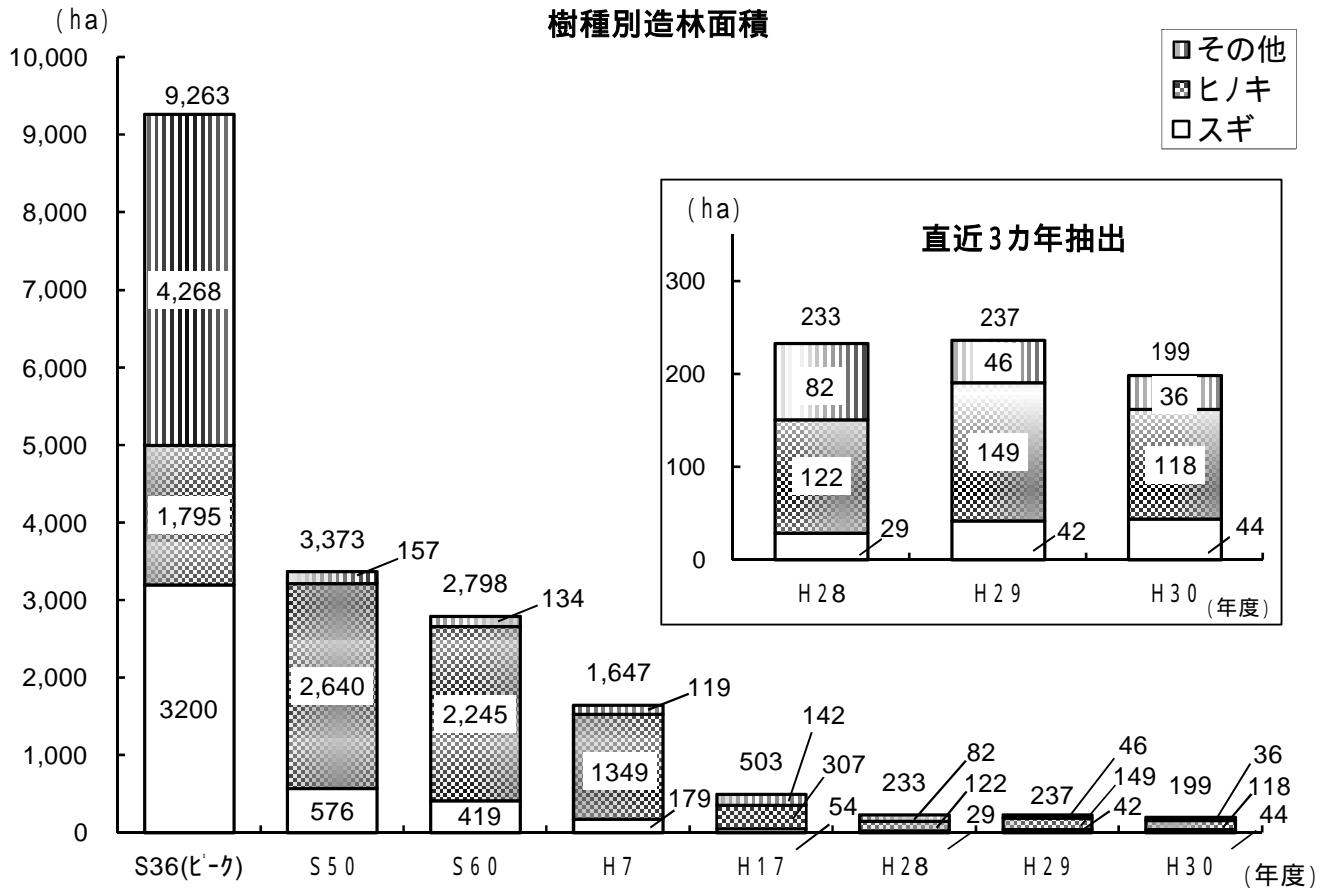
齡級：林齡を一定の幅にくくったもの。一般に5ヶ年をひとくりにし、林齡1～5年生までを1齡級、6～10年生までを2齡級...と称する。

2. 造林等

(1) 造林 (関連資料P41)

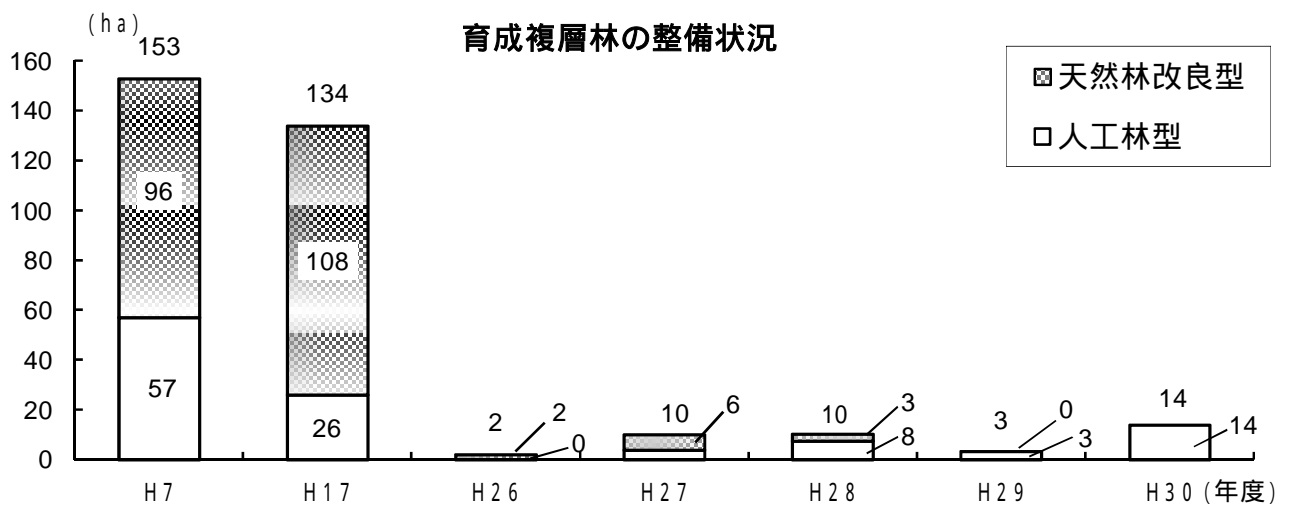
造林面積は、昭和36年度の9,263haをピークに減少し、近年は横ばいで推移している。

造林樹種は、スギ・ヒノキがその主体を占めている。その他の樹種は、昭和52年度までマツが主体であったが、その後は広葉樹が主体となっている。



(2) 育成複層林の整備 (関連資料P50, 51)

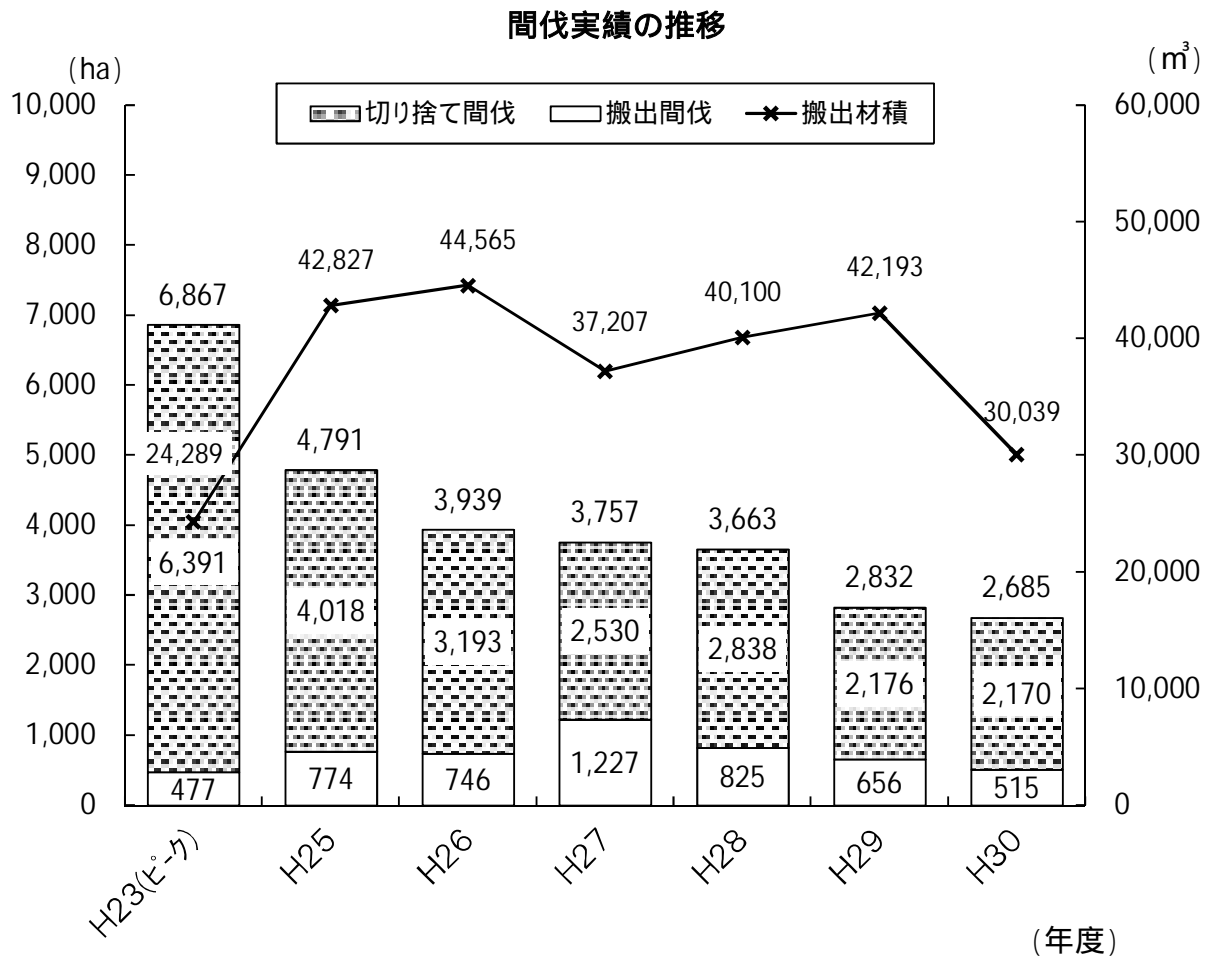
育成複層林の整備は、人工林型と天然林改良型により実施している。



(3) 間伐 (関連資料P57)

スギ・ヒノキの人工林の間伐面積は平成23年度の6,867haをピークに減少傾向で推移している。

平成30年度は約2,685haの間伐を実施している。

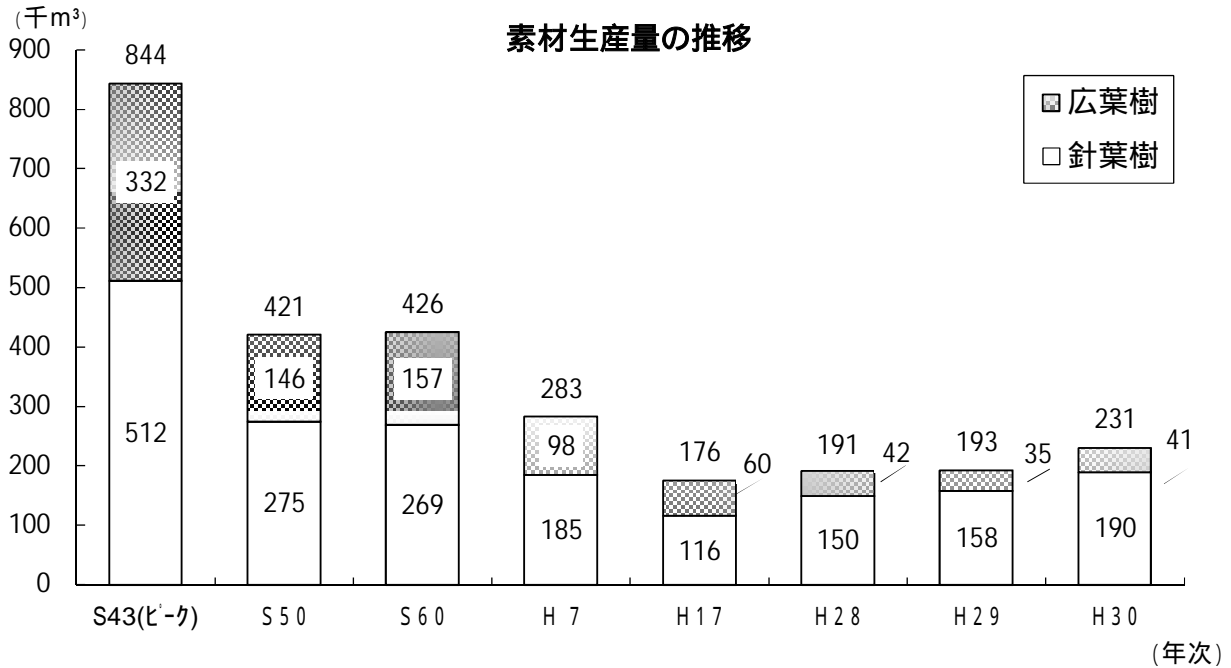


3. 林産物生産

(1) 木材生産 (関連資料P58, 59)

ア 素材生産

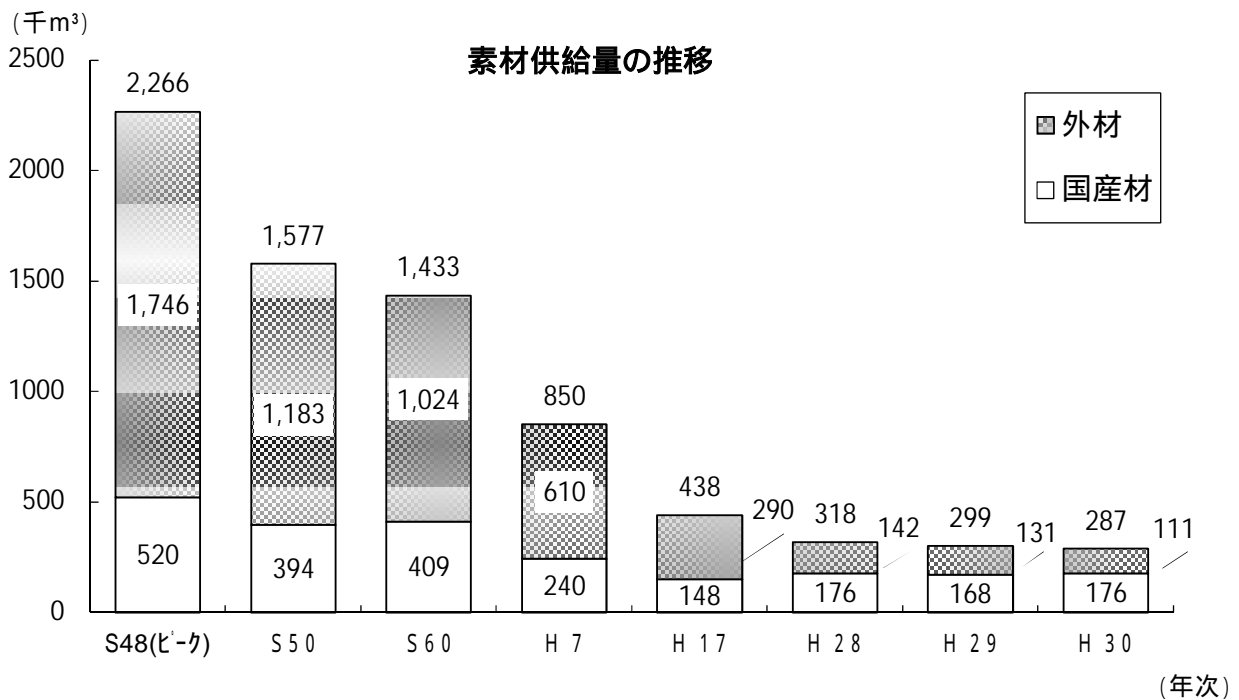
素材生産量は、昭和43年の844千 m^3 をピークに大幅に減少し、近年はピーク時の3割程度で推移している。



イ 素材供給

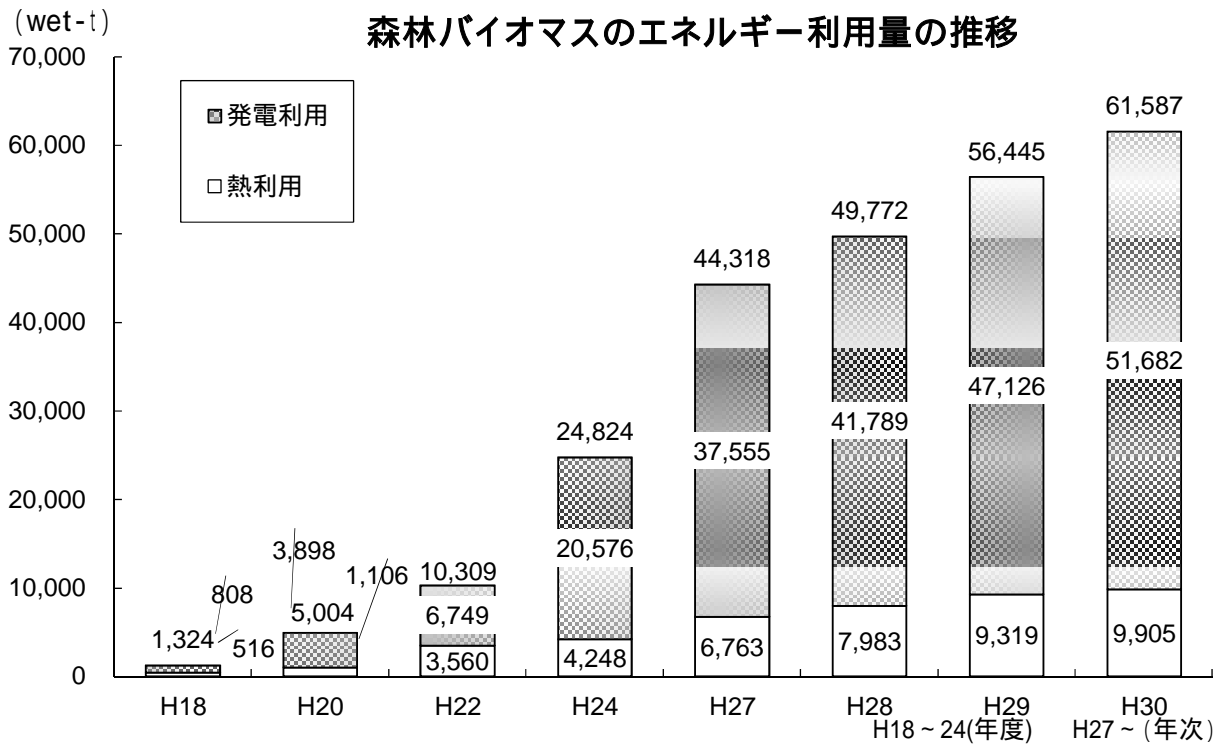
素材供給量は、昭和48年の2,266千 m^3 をピークに大幅に減少し、近年はピーク時の約1割まで減少している。

国産材、外材別では、平成20年までは外材が7割近くを占めていたが、近年、外材輸入量の減少により、平成25年からは国産材の割合が5割を超えている。



(2) 森林バイオマス (関連資料P67)

森林バイオマスのエネルギー利用は順調に増加している。

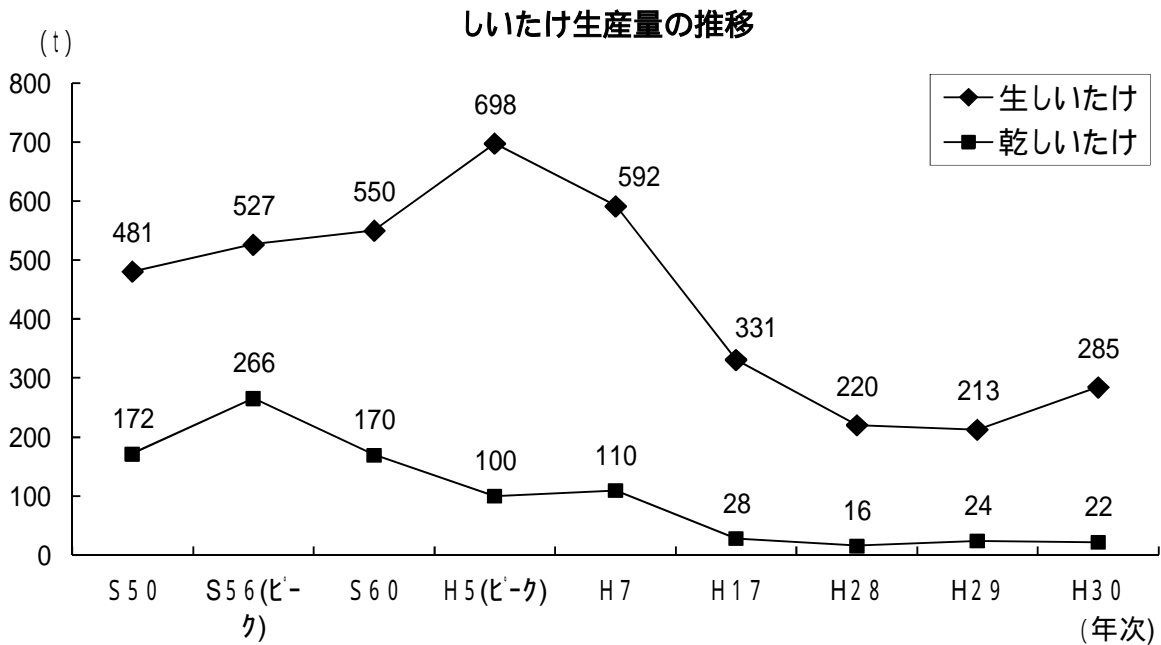


(3) 特用林産 (関連資料P68)

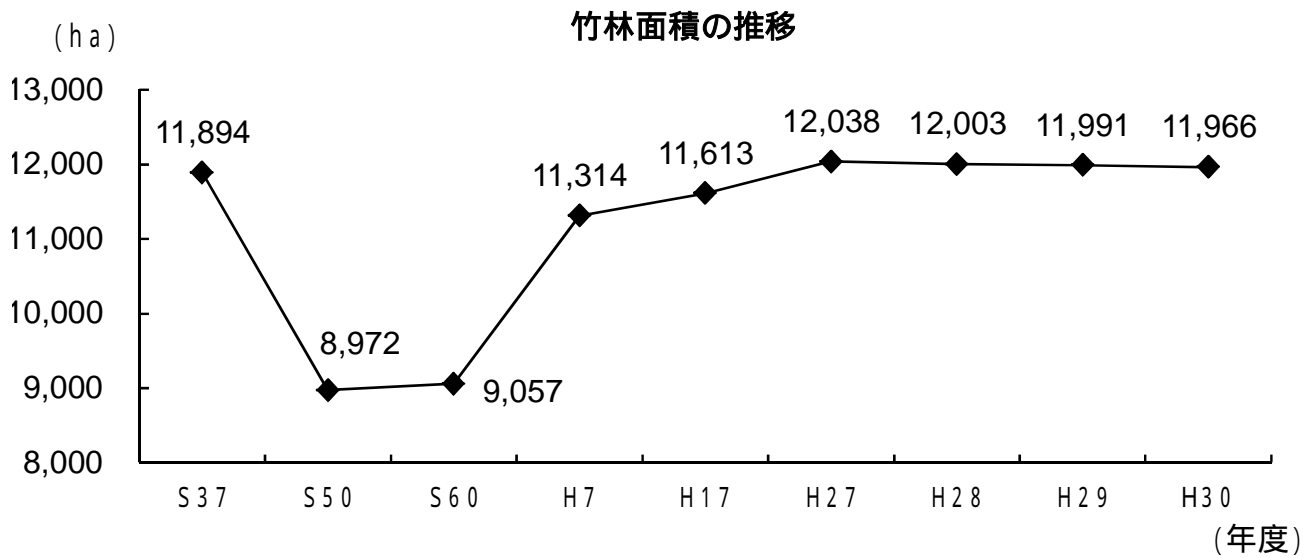
ア しいたけ

しいたけ生産量は、生しいたけが平成5年の698tを、乾しいたけは昭和56年の266tをピークに、大幅に減少している。

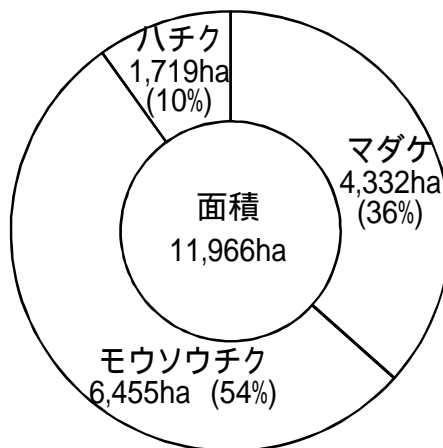
生しいたけはピーク時の4割程度まで減少し、乾しいたけにおいてはピーク時の1割以下まで減少している。



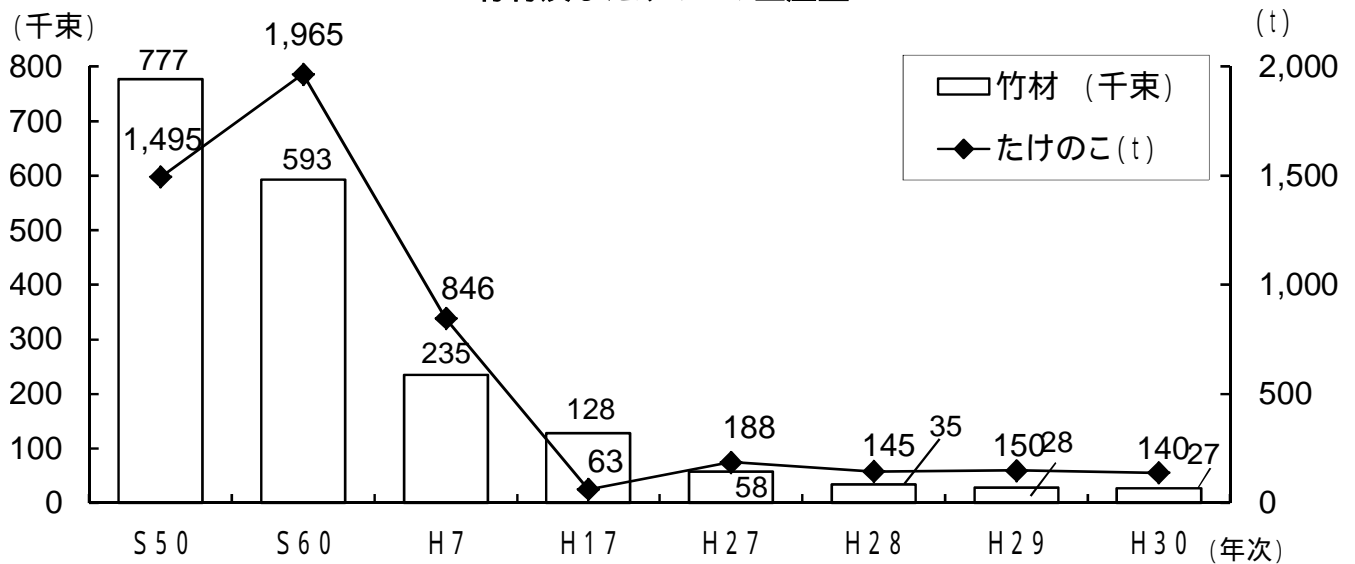
イ 竹林等
竹林面積は、近年、12,000ha程度で推移している。



種類別竹林面積



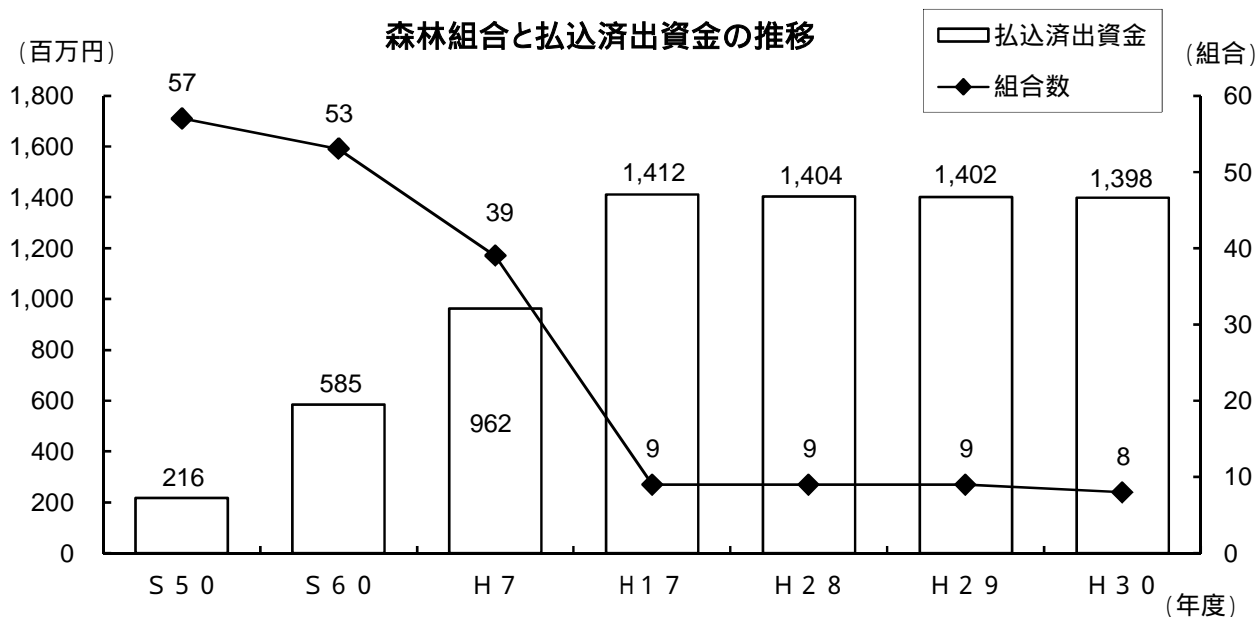
竹材及びたけのこの生産量



4. 森林組合

(1) 森林組合の概況 (関連資料P74,78)

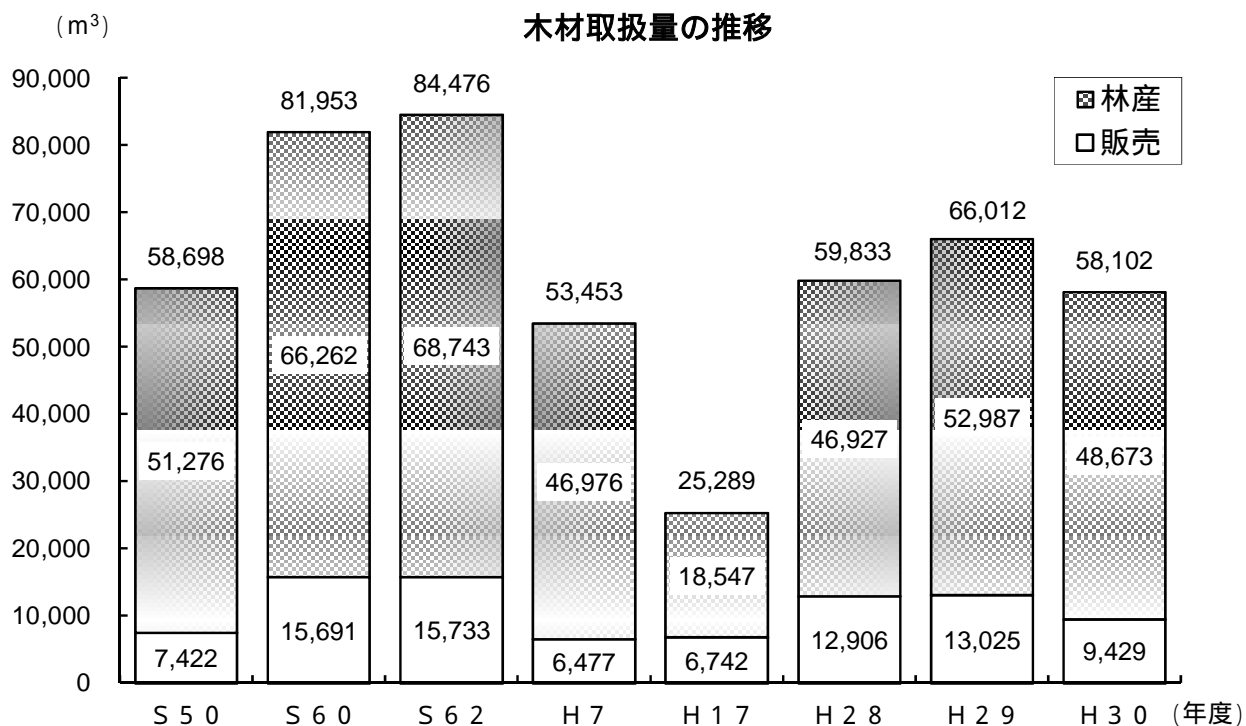
払込済出資金は、ここ数年横ばいで推移している。



区 分	年 度	S50	S60	H7	H17	H28	H29	H30
森林組合数		57	53	39	9	9	9	8
森林組合員数(人)		55,757	56,695	55,529	52,134	50,692	50,493	50,255
組合員森林所有面積(ha)		304,362	309,398	305,228	306,105	298,025	297,240	295,079
払込済出資金(百万円)		216	585	962	1,412	1,404	1,402	1,398

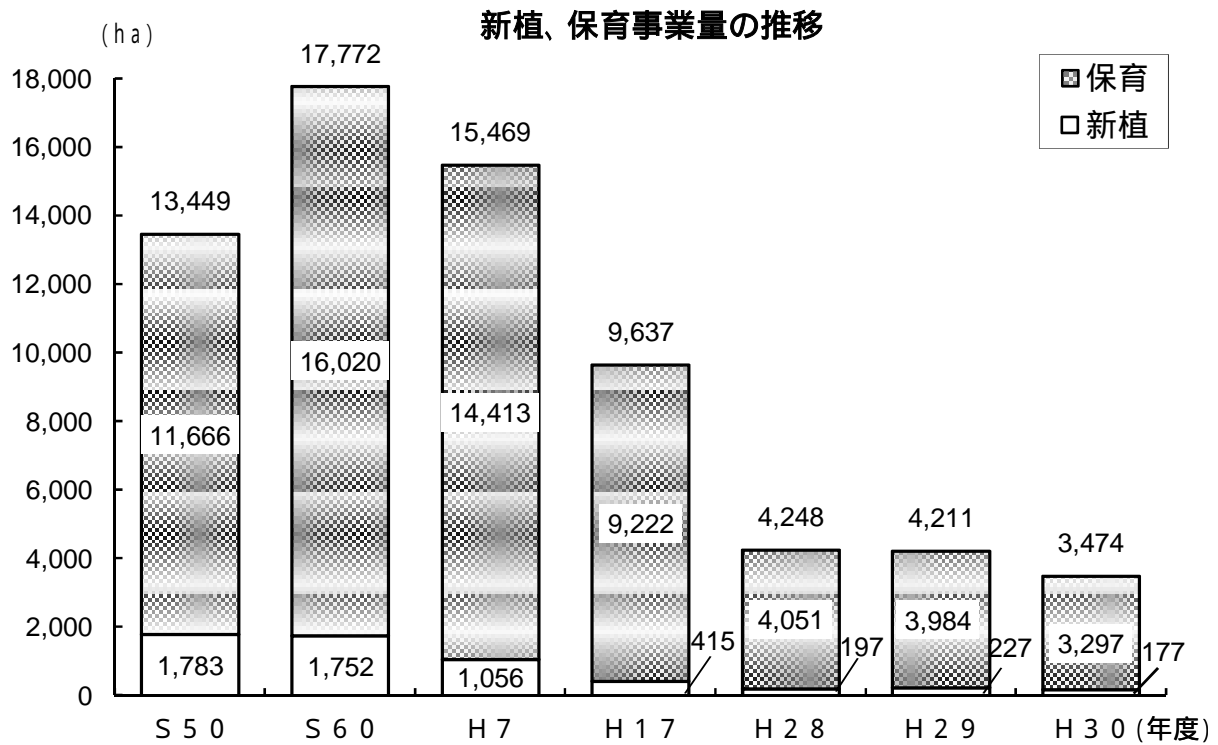
(2) 木材取扱量 (関連資料P76,79)

木材取扱量は、昭和62年度以降減少傾向にあったが、ここ数年持ち直しの動きが見られ



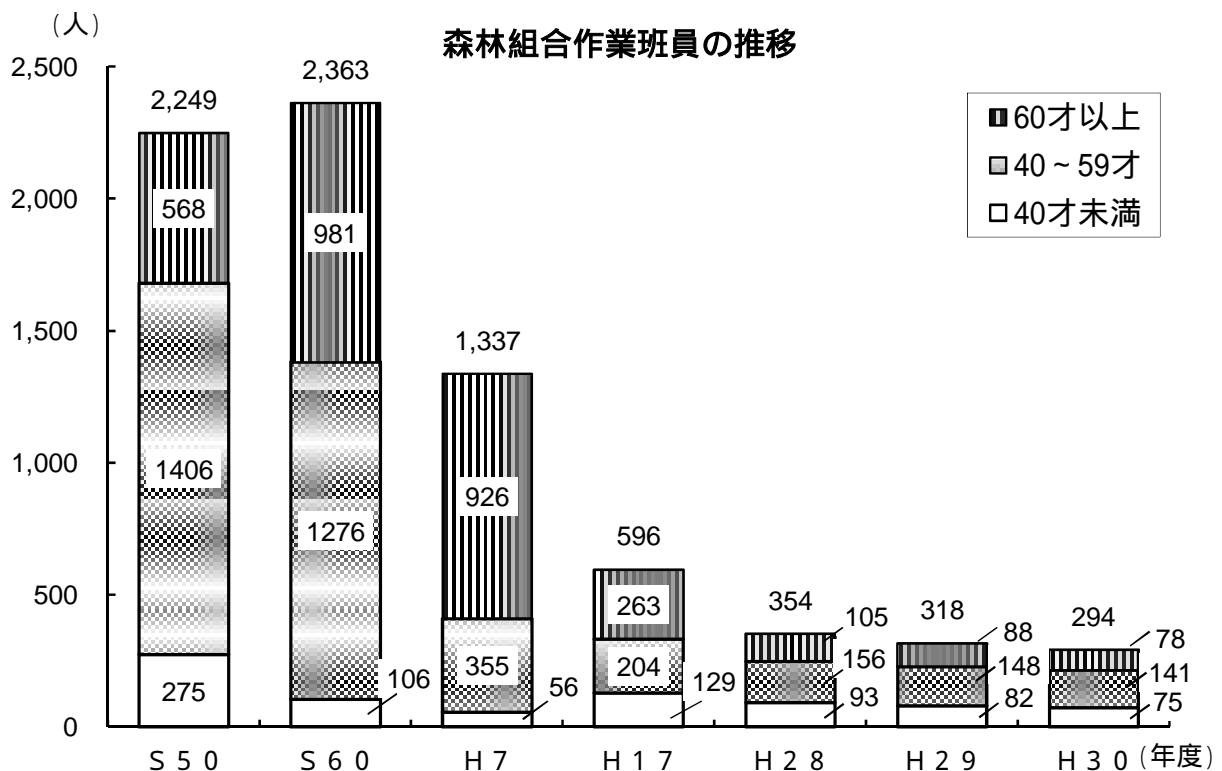
(3) 森林造成事業（関連資料P76）

保育の事業量は、逡減傾向にある。



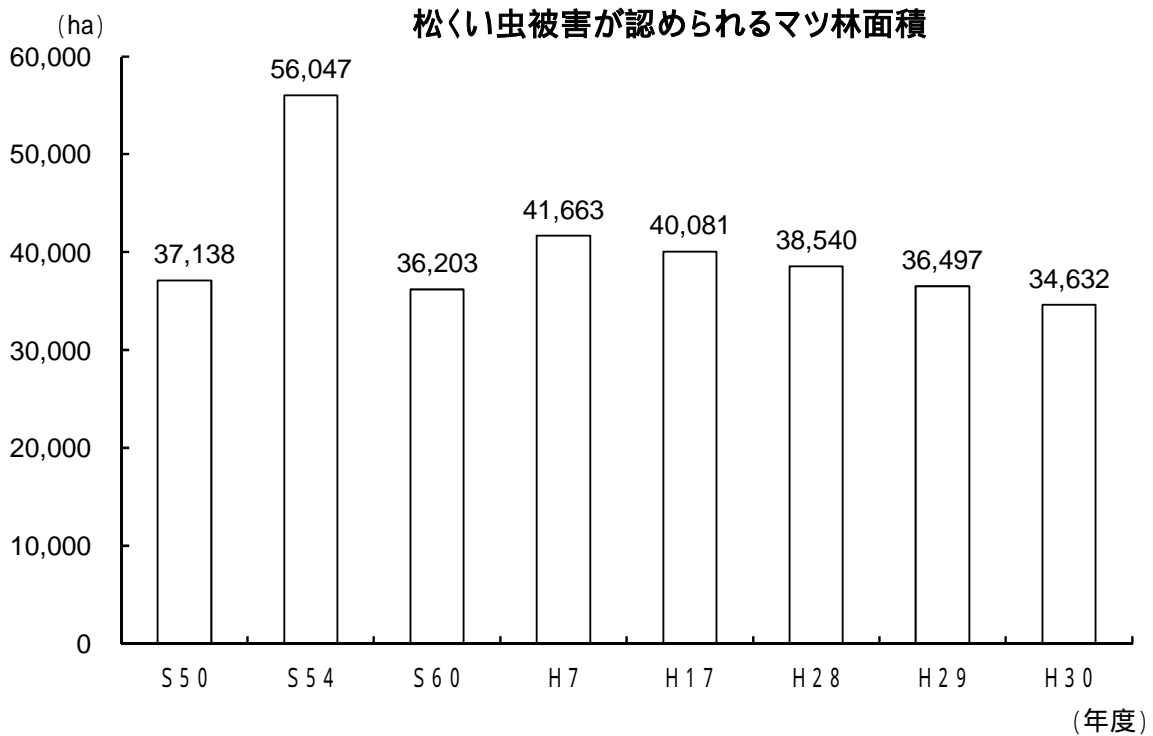
(4) 森林組合作業班（関連資料P77）

作業班員数は、年々減少しているが、59歳以下の割合は増加している。

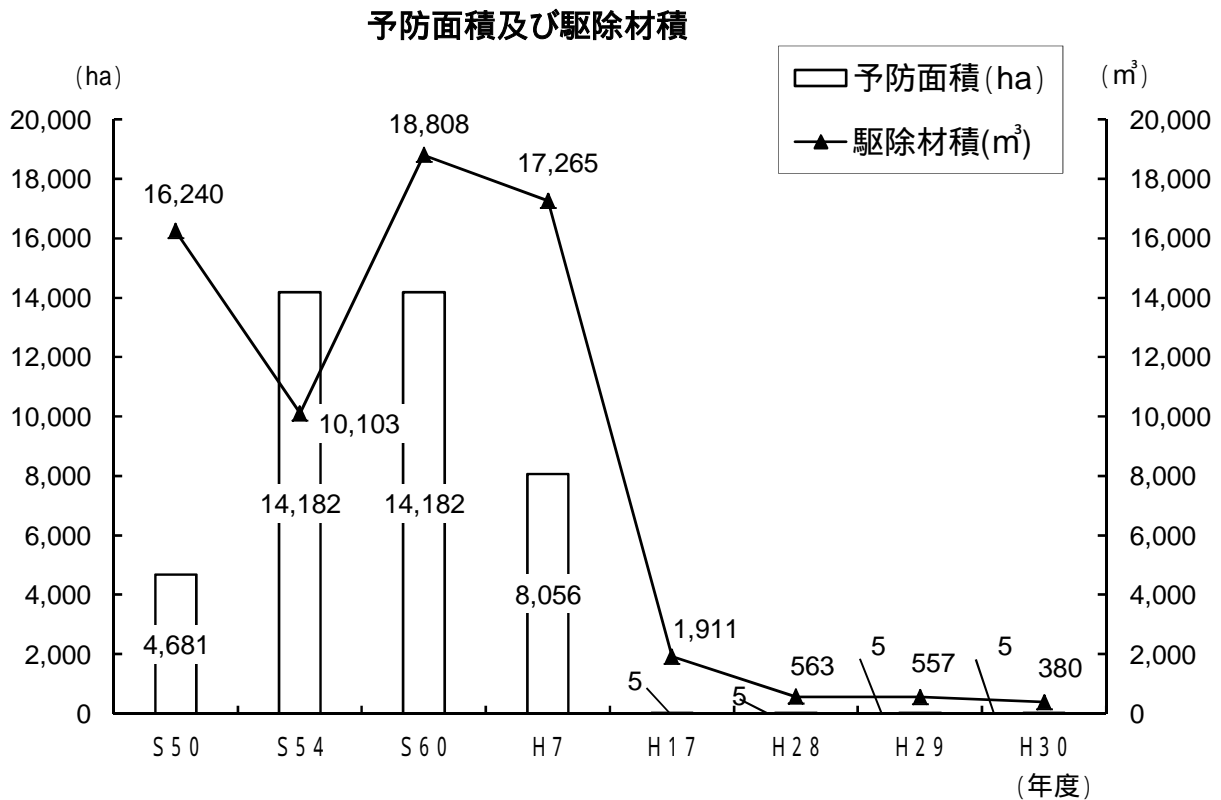


5. 森林被害

(1) 松くい虫被害 (関連資料P84)



(2) 松くい虫防除事業の推移 (関連資料P85)



6. 林業普及

(1) 林業士及び林業作業士の認定状況 (関連資料P89) (人)

区分	指導林業士	青年林業士	フォレストマネー	フォレストリーダー	フォレストワーカー	計
認定者数	80	4	72	29	180	365

作業士の認定者数は事業体支援班資料による。

(2) 主要林業機械の保有状況 (関連資料P90)

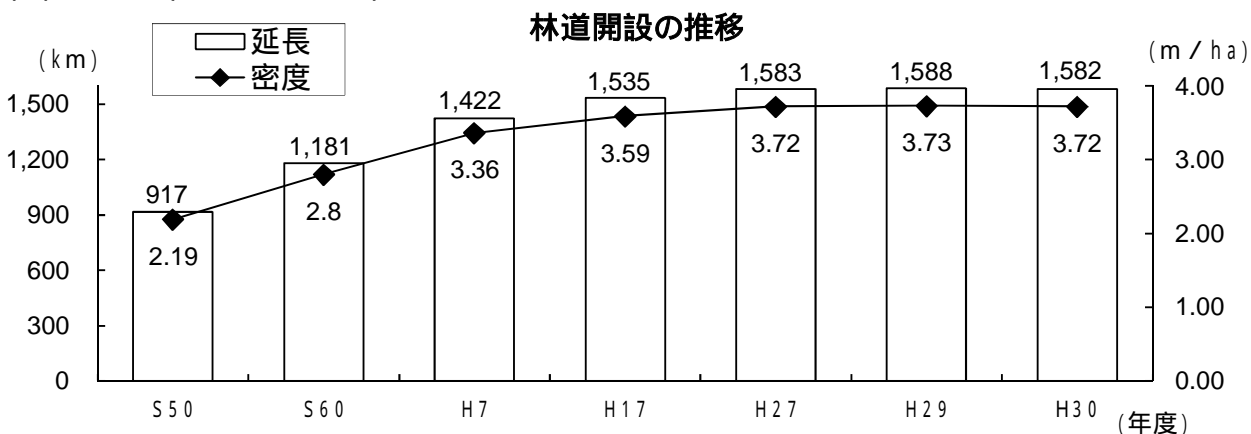
機械種別	年度	S50	S60	H7	H17	H27	H28	H29	H30
プロセッサ		-	-	2	10	11	10	11	11
ハーベスタ		-	-	1	1	15	18	21	23
フォワーダ		-	-	-	7	23	27	33	42
スイングヤード		-	-	-	6	14	14	16	17
集材機		649	520	437	282	177	189	176	123
運材機		181	359	479	292	227	223	264	164
チェーンソー		5,431	12,324	12,029	10,534	5,905	5,788	5,493	4,432
刈払機		5,448	8,732	11,783	13,074	6,489	6,401	6,157	5,397

7. 林道等

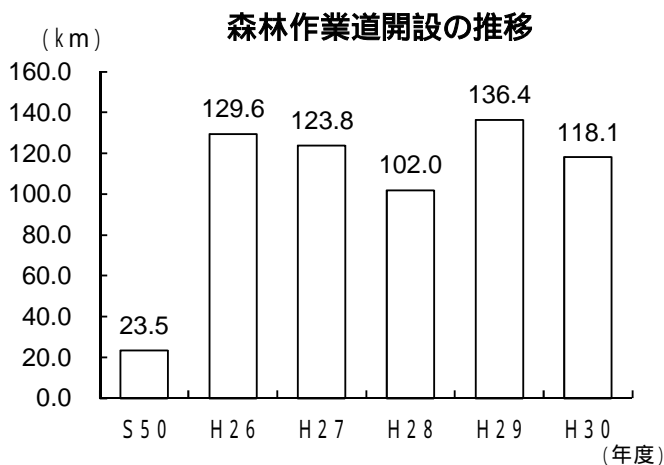
平成30年度は、8路線(延長2.4km)を開設等実施したが、公道への移管等により総延長は1,582kmとなった。

また、作業道(路)については、118kmが開設された。

(1) 林道 (関連資料P91)



(2) 森林作業道 (関連資料P55)



主要事業別森林作業道開設の推移

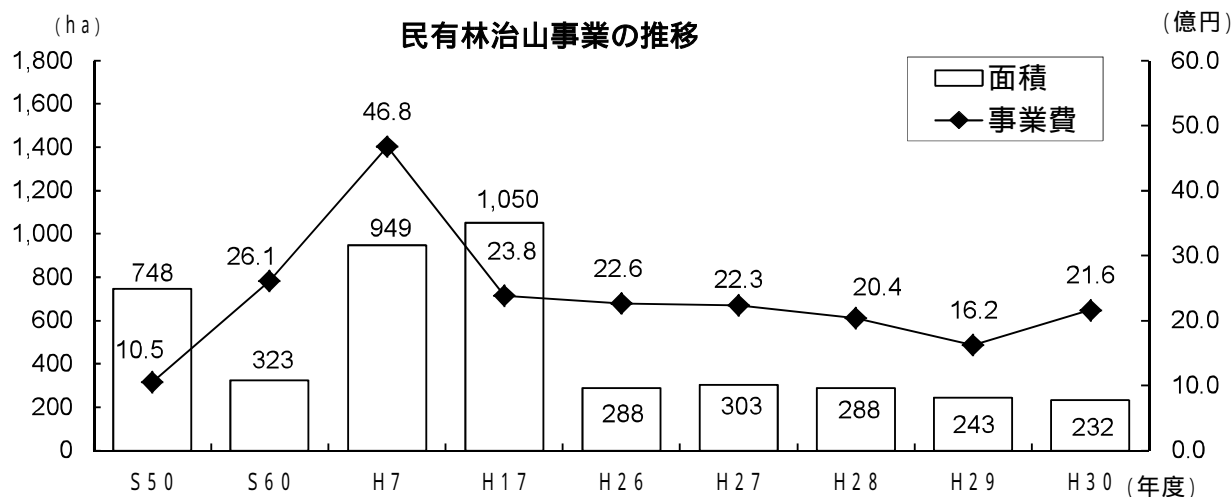
(単位:m)

	造間	林伐	林業構造改善	特用林産	合計
S50	20,777	1,373	-	1,308	23,458
H26	129,576	-	-	-	129,576
H27	123,821	-	-	-	123,821
H28	102,013	-	-	-	102,013
H29	136,374	-	-	-	136,374
H30	118,096	-	-	-	118,096

8. 治山

(1) 治山事業の推移 (関連資料P102)

治山事業は、森林整備保全事業計画(平成26年度～平成30年度)及びやまぐち農林水産業活力創出行動計画(平成26年度～平成30年度)に基づき計画的な事業の推進に努めており、平成30年度に発生した災害に対する復旧事業と併せ191箇所(面積232ha、事業費21.6億円)を実施した。



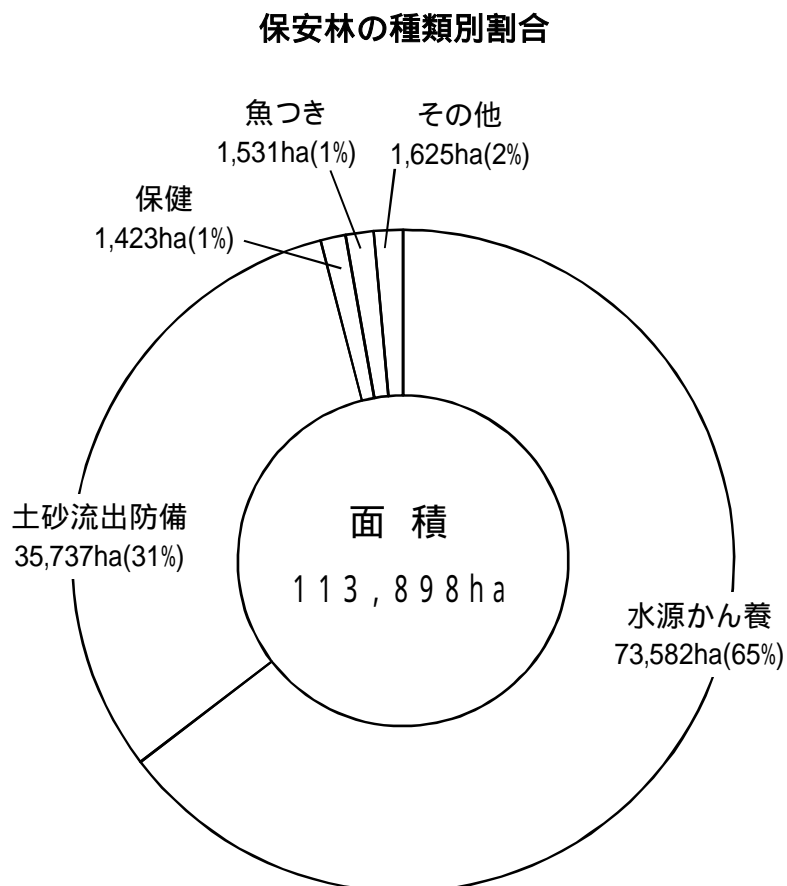
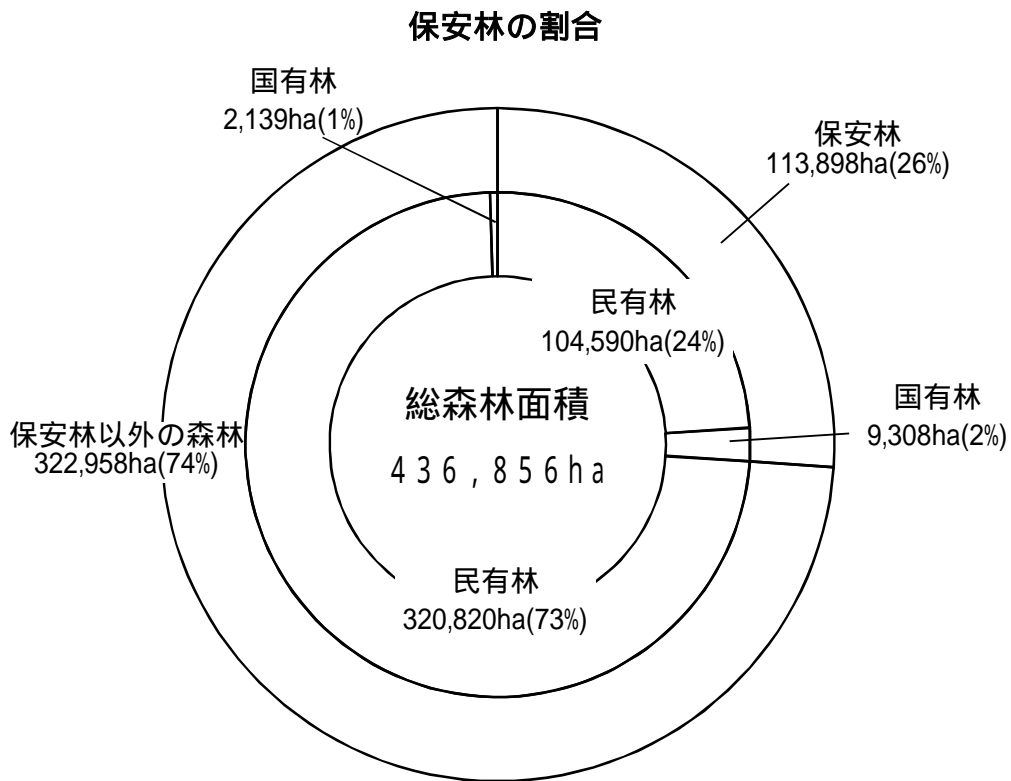
(2) 生活環境保全林 (関連資料 治山林道班資料)

生活環境保全林の概要

地区名	市 町	施行年度	区域面積	地区の愛称
			(ha)	
霜降山	宇 部 市	S47～49	200.00	霜降山市民の森
田床山	萩 市	S50～52	100.00	田床山市民の森
千坊山	光 市	S51～53	120.00	市民の森
太華山	周 南 市	S53～55	40.00	
長野山	周 南 市	S54～56	30.00	長野山緑地公園
天神山	防 府 市	S55～57	16.56	天神山森林公園
国見台	下 関 市	S56～58	62.00	国見台森林公園
菩提寺山	山陽小野田市	S57～59	30.00	菩提寺山市民の森
兄弟山	山 口 市	S58～60	13.00	おとどいやま森林公園
青海島	長 門 市	S59～61	30.00	青海島森林公園
嵩山	周防大島町	S60～62	42.00	長寿の森・嵩山森林公園
琴石山	柳 井 市	S61～63	18.60	琴石山グリーンパーク
笠戸高山	下 松 市	S62～H元	24.00	
烏帽子岳	周 南 市	S63～H2	34.80	烏帽子岳ウッドパーク
永安	岩 国 市	H元～2	8.50	周東町いこいの森
深坂	下 関 市	H元～3	46.10	サンサンフォレスト深坂
八丁峠	萩 市	H元～3	15.00	旭水の森
犬鳴	山 口 市	H2～3	18.50	犬鳴公園
高照寺山	岩 国 市	H2～4	62.00	高照寺山グリーンパーク
大浦岳	下 関 市	H3～4	41.83	大浦岳森林公園
十種ヶ峰	山 口 市	H4～5	29.80	
桜山	美 祢 市	H4～6	28.02	桜山森林公園
塔ヶ森	岩 国 市	H5～7	13.10	塔ヶ森展望公園
青海島	長 門 市	H6～7	10.00	
宇生	萩 市	H7～9	56.70	やすらぎの森宇生
右田ヶ岳	防 府 市	H5～11	492.10	
華山	下 関 市	H8～11	36.80	
高瀬湖	周 南 市	H10～13	24.37	
水尻	長 門 市	H12～14	30.20	いこいの森三隅

9. 保安林 (関連資料P110)

地域森林計画に基づき、計画的な整備に努めている。平成30年度末の保安林面積は、総森林面積の26%である。



10. その他

(1) 地域森林計画樹立状況 (関連資料: 地域森林計画書)

(単位: ha)

森林計画区	農林事務所	計画期間	民有林面積		
			対象森林	対象外森林	計
岩徳	岩国・柳井・周南	平成29年～38年	149,823	482	150,305
萩	萩	平成30年～39年	64,682	3	64,685
豊田	下関・長門	平成31年～40年	72,828	383	73,210
山口	山口・美祢	平成27年～36年	137,003	206	137,209
計			424,336	1,074	425,410

(2) 保有規模別林家数 (関連資料: 農林業センサス)

(単位: 戸、ha、%)

区分	2000年 (平成12年)		2005年 (平成17年)		2010年 (平成22年)		2015年 (平成27年)		H27/H22 林家数の 増減率	
	林家数	構成比	林家数	構成比	林家数	構成比	林家数	構成比		
	総数	33,114	100.0	28,119	100.0	28,366	100.0	26,457	100.0	93
保有 階 層 別	1～5ha	25,225	76.2	21,268	75.6	21,333	80.6	19,744	74.6	93
	5～20ha	6,889	20.8	5,872	20.9	5,969	22.6	5,667	21.4	95
	20～50ha	836	2.5	792	2.8	833	3.0	808	3.0	97
	50ha以上	164	0.5	187	0.7	231	0.9	238	0.9	103

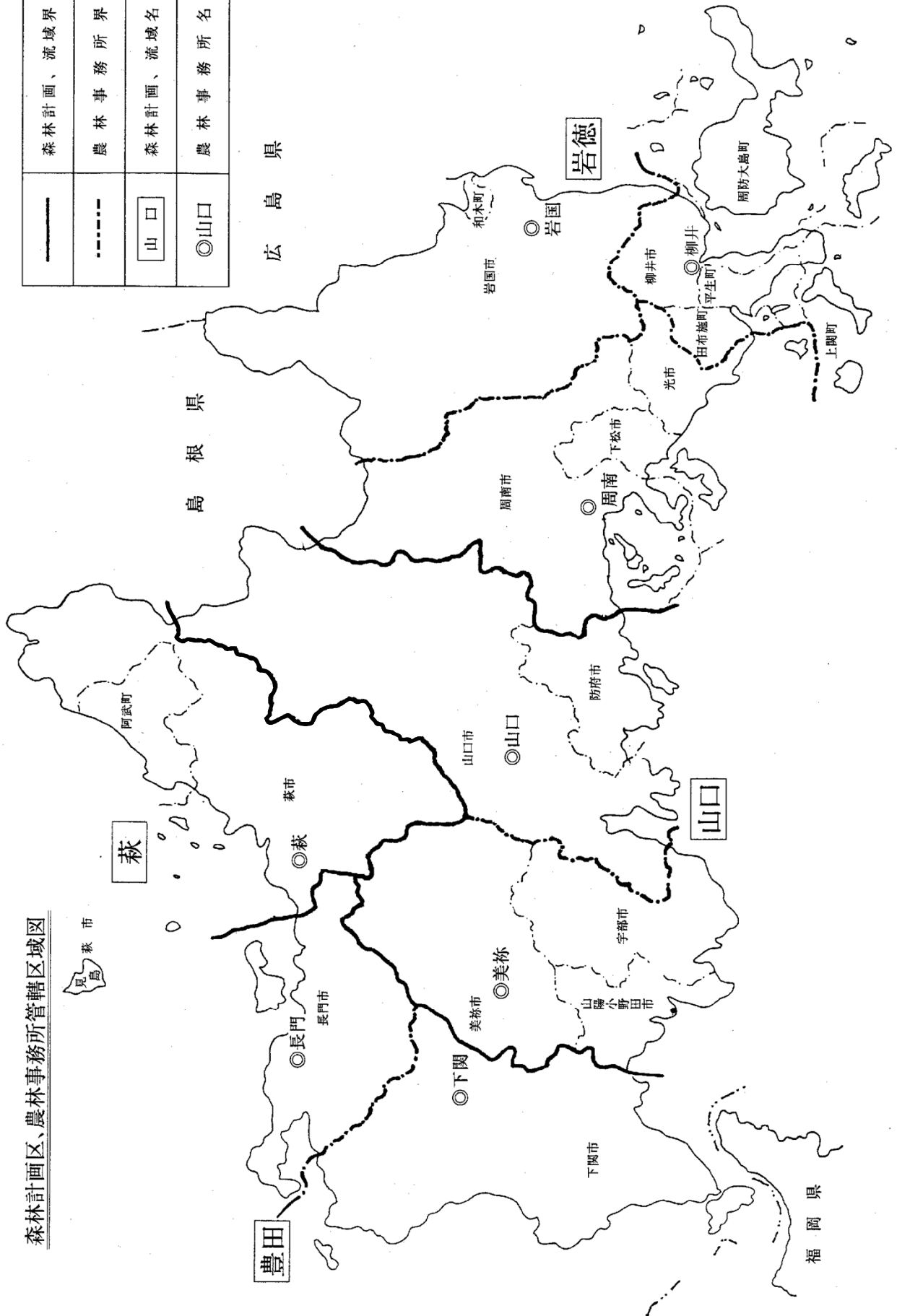
注: 1「林家」とは保有山林面積が1ha以上の世帯をいう。

(3) 森林経営計画の認定状況 (関連資料P33)

区分	件数		面積	
計	118	件	88,813	ha
林班計画	14	件	5,106	ha
区域計画	85	件	12,477	ha
属人計画	19	件	71,230	ha

森林計画区、農林事務所管轄区域図

——	森林計画、流域界
----	農林事務所界
□	山口
◎	山口



自然環境保全施設等整備状況図

